スイッチポート ブロッキングの設定

この章では、Cisco NX-OS デバイス上でスイッチポート ブロッキングを設定する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- スイッチポート ブロッキングについて （1 ページ）
- スイッチポート ブロッキングの注意事項および制約事項 （1 ページ）
- スイッチポート ブロッキングのデフォルト設定 （2 ページ）
- スイッチポート ブロッキングの設定 （2 ページ）
- スイッチポート ブロッキング設定の確認 （3 ページ）
- スイッチポート ブロッキングの設定例 （3 ページ）

スイッチポート ブロッキングについて

MAC アドレスが期限切れになるか、スイッチによって学習されなかったために、不明のマルチキャストまたはユニキャスト トラフィックがスイッチポートにフラッディングすることがあります。不明なマルチキャストおよびユニキャスト トラフィックがスイッチポートに転送されると、セキュリティ問題が発生する可能性があります。スイッチポート ブロッキングをイネーブルにすると、マルチキャストまたはユニキャスト トラフィックのポートへのフラッディングを防止できます。

スイッチポート ブロッキングの注意事項および制約事項

スイッチポート ブロッキング設定時の注意事項および制約事項は次のとおりです。

- トラフィック ストーム制御が適用されるのは入力ポートだけであるのに対して、スイッチポート ブロッキングが適用されるのは出力ポートだけです。
- スイッチポート ブロッキングは、すべてのスイッチド ポート（PVLAN ポートを含む）でサポートされ、ポートが転送するすべての VLAN に適用されます。
- スイッチポート ブロッキングは FEX ポートではサポートされません。

- ポート チャネルの不明のマルチキャストまたはユニキャスト トラフィックをブロックすると、ポート チャネル グループのすべてのポートでブロックされます。
- スイッチポートブロッキングには制御のレベルは用意されていません。指定されたポートにおける未知の出力マルチキャストまたはユニキャストパケットのフラッディングをすべて防止します。
- スイッチポート ブロッキングは、Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチの CPU を発信元とする制御パケットをドロップします。Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチのパケットはドロップしません。

スイッチポート ブロッキングのデフォルト設定

次の表に、スイッチポート ブロッキング パラメータのデフォルト設定を示します。

表 *1:* スイッチポート ブロッキング パラメータのデフォルト値

パラメータ	デフォルト
スイッチポートブロッキング	無効化

スイッチポート ブロッキングの設定

デフォルトでは、スイッチは不明の宛先 MAC アドレスを持つパケットをすべてのポートにフラッディングします。それらのトラフィックの転送を防止するには、未知のマルチキャストまたはユニキャスト パケットをブロックするポートを設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**interface** {**ethernet** *slot*/*port* | **port-channel** *number*}
	例：
	`switch# interface ethernet 1/1`
	`switch(config-if)#`
		インターフェイス設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	[**no**] **switchport block** {**multicast** | **unicast**} 例： `switch(config-if)# switchport block unicast`	指定されたポートにおける未知のマルチキャストまたはユニキャスト パケットのフラッディングを防止します。 ポートで通常の転送を再開するには、このコマンドのno形式を使用します。
ステップ 4	（任意） **show interface** [**ethernet** *slot*/*port* | **port-channel** *number*] **switchport** 例： `switch(config-if)# show interface ethernet 1/1 switchport`	スイッチポートブロッキング設定を表示します。
ステップ 5	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config-if)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

スイッチポート ブロッキング設定の確認

スイッチポート ブロッキング設定情報を表示するには、次のタスクのいずれかを行います。

コマンド	目的
show interface switchport	すべてのインターフェイスのスイッチポートブロッキング設定を表示します。
show interface {**ethernet** *slot*/*port* | **port-channel** *number*} **switchport**	指定したインターフェイスのスイッチポートブロッキング設定を表示します。
show running-config interface [**ethernet** *slot*/*port* | **port-channel** *number*]	実行コンフィギュレーションのスイッチポートブロッキングコンフィギュレーションを表示します。

スイッチポート ブロッキングの設定例

次に、イーサネットインターフェイス 1/2 上でマルチキャストおよびユニキャスト フラッディングをブロックし、設定を確認する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# switchport block multicast
switch(config-if)# switchport block unicast
switch(config-if)# show running-config interface ethernet 1/2
!Command: show running-config interface Ethernet1/2
!Time: Wed Apr 15 16:25:48 2015

version 79.2(1)

interface Ethernet1/2
switchport
switchport block multicast
switchport block unicast
```

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。